

学科試験問題（上級）（例示）

No	問題
1	コンクリートのたいきゅうせい は、すいりょう が おおいほど すぐれている。
	コンクリートの耐久性は、水量が多いほど優れている。
2	てっきん で ほきょう した コンクリート は、ひびわれ を しょうじ ない。
	鉄筋で補強したコンクリートは、ひび割れを生じない。
3	コンクリートの ひんしつ は、ねりまぜ すい の しゅるい に より かわって しまう こと が ある。
	コンクリートの品質は、練混ぜ水の種類により変わってしまうことがある。
4	さいこつざい の ひょうめんすい りつ は、しけん ち を たしかめる だけ で よい。
	細骨材の表面水率は、試験値を確かめるだけでよい。
5	えーいーざい は、コンクリート ちゅう の きほう を ふやす ため に もちい られる。
	AE剤は、コンクリート中の気泡を増やすために用いられる。
6	みず と セメント の けいりょう ごさ の きてい は、こつざい の けいりょう ごさ より も おおきい。
	水とセメントの計量誤差の規定は、骨材の計量誤差よりも大きい。
7	みきさ へ の しょうざいりょう の とうにゆうじゅんじょ は、はいごう が ち が っ て も おなじ に する の が よい。
	ミキサへの使用材料の投入順序は、配合が違ってても同じにするのがよい。
8	かたわく くみたて の さい は、ぼるとが しまっ て いる か、せつごう ぶ に すきま が ないか、かくにんする。
	型枠組立の際は、ボルトが締まっているか、接合部に隙間が無いか、確認する。
9	コンクリート の ねりまぜ に つかう みず は、どろみず でも よい。
	コンクリートの練り混ぜに使う水は、泥水でも よい。
10	かがくこんわざい は、かんり が よくない と ひんしつ が へんか する。
	化学混和剤は、管理が良くないと品質が変化する。

No	問題
11	ふれっしゅ こんくりーと の じょうたい が いつも と ちがって も、みきさ の かくにん は ひつよう ない。
	フレッシュコンクリートの状態がいつもと違って、ミキサの確認は必要ない。
12	てっきん の いち が うちがわ に ずれて、かぶり が おおきく なると、せいひん の まげつよさ が ていかする。
	鉄筋の位置が内側にズレて、かぶりが大きくなると、製品の曲げ強さが低下する。
13	うちこみ まえ に ざいりょう ぶんり した こんくりーと は、ねりまぜ て きんいつ にする。
	打込み前に材料分離したコンクリートは、練り混ぜて均一にする。
14	かたわく に うちこむ こんくりーと は、さぎょう が し やすい ように、いっかしよ に やまもり にする。
	型枠に打込むコンクリートは、作業がし易いように、一ヶ所に山盛りにする。
15	ふらすちつく すぺーさ が へんけい して いた が、そのまま こんくりーと を うちこんだ。
	プラスチックスペーサが変形していたが、そのままコンクリートを打ち込んだ。
16	こんくりーと は、できるだけ ながい じかん ねりまぜる の がよい。
	コンクリートは、できるだけ長い時間練り混ぜるのがよい。
17	ばいぶれーたー は、しんどう が つたわる はんい が かさなる ように そうにゆう する。
	バイブレーターは、振動が伝わる範囲が重なるように挿入する。
18	すらんぷ ろす した こんくりーと は、しめかため じかん を ながく すれば、もんだい ない。
	スランプロスしたコンクリートは、締固め時間を長くすれば、問題無い。
19	かなごて で こんくりーと ひょうめん を こする かいすう が おおい ほど、たいきゅうせ いのたかいこんくりーとになる。
	金ゴテでコンクリート表面を擦る回数が多いほど、耐久性の高いコンクリートになる。
20	だっけい は、こんくりーと の おんど が できるだけ たかい うち に おこなう の が よい。
	脱型は、コンクリートの温度ができるだけ高いうちに行うのがよい。
21	じょうき ようじょう を かいし する までの まえおき じかん は、こんくりーと の きょうど に えいきょう しない。
	蒸気養生を開始するまでの前置き時間は、コンクリートの強度に影響しない。
22	だっけい した せいひん は、すぐにもくしによって がいかん や けいじょう の ふぐあい を かくにん する。
	脱型した製品は、すぐに目視によって外観や形状の不具合を確認する。

No	問題
23	ひょうめんにのこったきほうは、コンクリートのきょうどやたいきゅうせいをさげることはない。
	表面に残った気泡は、コンクリートの強度や耐久性を下げることはない。
24	だっけいされたせいひんは、しずかにとりあつかうことがたいせつである。
	脱型された製品は、静かに取り扱うことが大切である。
25	けんさにふごうかくのコンクリートせいひんは、JISマークのひょうじをけす。
	検査に不合格のコンクリート製品は、JISマークの表示を消す。
26	コンクリートせいひんのかどかけやひびわれは、とらつくでのうんぱんちゅうにしょうじることがある。
	コンクリート製品の角欠けやひび割れは、トラックでの運搬中に生じることがある。
27	てっきをもちほぶときは、てっきんせんたんがたのさぎょうしゃにあたらぬようにちゅういする。
	鉄筋を持ち運ぶときは、鉄筋先端が他の作業者に当たらないように注意する。
28	でんどうこうぐのそうじなどをおこなうときは、でんげんぶらぐをこんせんとからぬく。
	電動工具の掃除等を行う時は、電源プラグをコンセントから抜く。
29	にほんごのしじをりかいしていないぎのうじっしゅうせいがいたが、かんりしゃがおしえるので、だまっていた。
	日本語の指示を理解していない技能実習生がいたが、管理者が教えるので、黙っていた。
30	なつばはこまめにすいぶんをほきゅうするほうがよい。
	夏場は小まめに水分を補給する方がよい。